

兵庫県保険医協会

第80回評議員会・
第34回共済制度委員会のご案内

11月20日(日)午後1時～ 保険医協会会議室

・午後1時～ 第80回評議員会 ・午後2時35分～ 臨時(決算)総会
-共済制度委員会特別報告- 午後2時55分～3時50分

「**混迷する金融情勢と生保業界の運用戦略**」

報告者: 三井生命取締役常務執行役員 **中島 拓之氏**

欧州の金融と財政の複合危機が進行しています。特に夏場以降、グローバル化した金融市場は激震に見舞われています。日本経済は東日本大震災と収束の見えない福島原発事故、円高の進行、所得・雇用環境の悪化により景気を支える個人消費の回復にはほど遠い状況です。国内生保業界は、健全性基準の厳格化のなか国債金利の低下に象徴される低金利による運用難に直面しています。保険医年金の幹事会社であり、受託シェアの再引き下げを求めている三井生命の現状と運用を含めた経営方針は。今回は運用担当常務に直接聞きます。どなたでもご参加いただけます。

-評議員会特別講演- 午後4時～

「**震災復興と社会保障の財源を考える**」

講師: 暮らしと経済研究室主宰 **山家 悠紀夫先生**

東日本大震災の復興と社会保障拡充の願いに対して、民主党政権は、所得税の増税と消費税増税を打ち出しています。しかし、埋蔵金の活用や国債発行をすれば増税する必要はないなどの批判の声も広がっています。今回お迎えする講師の山家悠紀夫氏は、「増税にもいろいろな選択肢がある」「大企業と高額所得者を優遇してきた不公平税制をただせば、消費税を増税しなくても10兆円の財源は生み出せる」と述べています。40年以上に渡り日本経済の中核に身をおいてきた山家氏の講演会には是非ご参加下さい。

秋の共済制度普及 好評受付中!

団体定期
生命保険

グループ保険

昨年度配当は42%
一昨年度は50%を還付!

- 団体保険だから断然安い保険料
- ライフプランに合わせていつでも増額・減額できます
- 最高5000万円の高額保障
- 医師による診査はありません
- 配偶者1000万円のセット加入あり

協会の「休業保障制度」にご加入いただけない方や、上乘せ補償をご希望の方へ。

所得補償保険

うつ病等の精神障害による就業不能も補償 / 入院は1日目から、自宅療養は5日目から補償 / ご家族、スタッフも加入OK

お問合せは共済部まで ☎ 078-393-1805

兵庫県保険医協会

尼崎支部ニュース

326号

2011年10月25日付

〒660-0055 尼崎市稲葉元町2-11-10 八木クリニック内
兵庫保険医協会尼崎支部 TEL06-6417-6600 FAX06-6417-6011

震災復興住宅・金楽寺 健康教室

薬と上手につきあおう

支部で震災対策として取り組む、金楽寺復興住宅での健康教室を9月28日に開催。

今回は「服薬の仕方・注意点」をテーマに、薬局リベルファーマシー(竹谷町)の薬剤師・滝本桂子氏が講師を務め、入居者12人が参加した。

講師は、薬の服用回数は血中濃度を一定に保つために守る必要があり、決められた回数や量を守らなければ副作用や効果が出ない場合があること、食前・食後・食間・屯用の違いなど、薬の効くしくみや基本的な飲み方を説明。飲み忘れた場合や、薬の飲み始めに異常が出た場合、飲み合わせ・食べ合わせの注意点など、具体的に解説した。

また薬局では、飲み忘れ・飲み間違いを防ぐために、希望者には飲む時間ごとに1つの袋に薬をまとめて渡していることや、「かかりつけ薬局」をもつことで「薬歴」をつくり、複数の医療機関に受診した場合の飲み合わせや、重複がないか確認できるとして、「薬局を上手に使おう」とアドバイスした。

参加者らは、副作用の症状や、講師が紹介した「お薬手帳」について熱心に聞き入っていた。



「薬で不安があれば医師に必ず相談を」と呼びかけた

県塚の会が署名街頭宣伝

30人が参加し318筆



買い物帰りの多くの市民が署名に応じた

「県立塚口病院の充実と尼崎市及び阪神地域の医療を考える会(県塚の会)」は10月8日、阪急塚口駅前で、新病院建設の基本計画の完全実施や両病院跡地に一般病院を誘致するよう求めた署名街頭宣伝を実施し、30人が参加。約2時間で318筆の署名が集まった。会では集まった署名を来月初旬にも県に提出する予定。

支部では258筆が集まりました。ご協力ありがとうございました。

尼崎社保協

市民サービス切り捨ての行革を批判



尼崎の社会保障改善要求が報告された

尼崎社保協(会長・畠中正昭支部幹事)は9月29日に定期総会を開催し、38人が参加した。

特別報告として「尼崎市政はどうなっている!現状と問題点」と題し、日本共産党の辻修市会議員が講演。

国の公共事業バラマキ政策により、歴代の市長がやってきた開発事業が破綻し1,169億円の借金をかかえた尼崎市。職員800人削減、支所と保健センターの統廃合、市民福祉金を廃止した「経営再建プログラム」により、財政再建団体への転落は阻止したものの、平成24年度までに56億円の収支不足が生じるとして、「行財政構造改革推進プラン」が実施された。職員500人のさらなる削減、敬老パスの有料化、市立幼稚園の統廃合など、様々な福祉施策や市民サービスを切り捨てた行革を行ったが、市バスの敬老パス有料化は見込み違いで収入不足になるなど、施策の可否が問われる結果となっている。市の責任を追及し、「元に戻せ」という要求を強めようと呼びかけられた。

また加盟団体からは、高すぎる尼崎の国保料の問題、介護職員の実態や介護保険改定の問題点、社保協が支援している「アスベスト訴訟」と「生存権裁判」の現状、県立尼崎・塚口病院統合再編への要望、子どもの権利を侵害する保育制度「子ども・子育ての新システム」の問題点など報告された。

会長には畠中正昭先生が再任されたほか、新事務局長に尼崎医療生協の堤氏が就任した。

第454回幹事会だより

10月14日(金) 於 西大島・「いし」 参加:7人

- 尼崎支部の会員数と組織率
10/13現在 医科383人(83%)、歯科136人(53%)
- 医療をめぐる情勢と運動対策
福島第一原発事故、小児科・産婦人科の減少、年金支給開始年齢の引き上げ、TPPなどの問題について意見交換した。
- 当面の支部活動
11月30日(水)13:30~金楽寺健康教室、3月23日(金)14:00~労働福祉会館にて診療報酬改定研究会を開催予定。
- 次回の幹事会
11月18日(金)20時から東園田・「大野見」で開催予定。

お問い合わせはTEL 078-393-1805 長澤まで

尼崎アスベスト裁判

「工場内の石綿飛散は明らか」

クボタ旧神崎工場で下請け労働者として出入りし、石綿が原因で死亡した藤原さん、山本さんの遺族によるアスベスト訴訟(労災型)の第10回口頭弁論が、10月7日に神戸地裁で開かれた。

原告弁護団は、「石綿運搬用ドンゴロス(麻袋)は丈夫だった」「破れた場合も補修して使用した」「集塵装置を設置して飛散を防止しており、石綿粉じん濃度のデータからも石綿粉じんの漏出、曝露はありえない」と主張するクボタに対し、再度反論。「ドンゴロスは手鉤で破れており、補修は不完全」という荷揚げに関した神戸港湾労働者への聞き取り調査による証言や、「粉じんが飛んできた」と明言する工場東隣の団地住民の話などから、「工場内の石綿粉じん飛散は明らか」と主張した。



原告団からより多くの傍聴支援が呼びかけられた

【ご案内】

① 第24回アスベスト裁判(環境型)

10月27日(木) 13時30分~ 神戸地裁101号法廷

証人尋問:浅田昌男氏(当時クボタ旧神崎工場に出入りしていた青写真店主)

② アスベスト被害からいのちと健康を守る尼崎の会第7回総会&講演会

11月5日(土) 14時~17時 尼崎労働福祉会館3階中ホール

第1部 学習会「クボタ旧神崎工場周辺被害と政府の責任」講師:森 裕之立命館大学教授

第2部 総会

③ 第13回アスベスト健康被害相談会

11月13日(日) 10時~14時 JR尼崎駅北側・小田公民館

健康情報テレホンサービス

< 11月のテーマ >

通話料無料 (0120) 979-451

- 月曜日 蚊が飛ぶように見える「飛蚊症」
- 火曜日 よく嘔むことと認知症予防
- 水曜日 胃食道逆流症について
- 木曜日 漢方治療と尿路疾患
- 金土日 薬の服用時の注意について

※テレホンサービスは、協会のホームページでもご覧いただけます。既放送分も掲載しています。

<http://www.hhk.jp/>